

65th Anniversary ともに未来へ

石油化学新聞社
創立65周年記念号

第3部

プロパン・ブタンニュース

勝てる提案で学校にLPGガスGHP

草津栗東ガス協組 T&DリースJV

信用と経済性がカギ

滋賀県南部 県立4校 計35台720馬力を設置

滋賀県が実施した「滋賀県立学校空調設備整備およびサービス提供業務」(追加分)の公募型プロポーザルで、県内9地域のうち南部地域4校に対する事業に応募した草津栗東ガス事業協同組合(本部・栗東市、小和田隆三理事長)とT&Dリース(本社・東京、岸信之社

長 的共同企業体(JV)が、競合する企業や共同企業体の提案に勝ち、LPGガス仕様GHPを導入した。同組合は過去2回のプロポーザル公募にも参加したが受注できず、県立学校空調設備の整備が完了する最後の公募での悲願達成となった。

LPGガス仕様GHPを。設置教室数は普通教設置した学校は栗東高 室49室、特別教室55室、草津養護学校、野洲で、それら教室の合計床面積は8353・55平方メートル、そのうち1校は4校で、そのうち1校は2校、ハイパワー馬力2台、ハイパワー馬力2台、ハイパワー馬力1台、30馬力1台、20馬力1台、25馬力1台、13馬力1台、30馬力1台、

学校別の内訳は▽栗東高 校(室外機13台250馬力)▽ハイパワー馬力機▽37台▽野洲養護学校(室外機4台、69馬力)▽ハイパワー馬力機(16馬力1台、20馬力1台、25馬力1台、13馬力1台、30馬力1台、)▽湖南農業高 校(室外機11台、249馬力)▽ハイパワー馬力機(16馬力1台、30馬力2台)ハイパワー馬力機(20馬力2台、25馬力2台、30馬力2台、)ビル用マルチ(10馬力1台、13馬力1台、30馬力1台、)

左から梶山大・T&Dリース大阪支店課長、武村文勝・草津栗東ガス事業協同組合会計理事、小和田隆三理事長、山元勝雅専務理事、山崎豊治主任



草津栗東ガス事業協同組合
滋賀県LPGガス協会 草津支部
栗東市手塚3丁目4-33番地 電話 553-2488
553-2466



草津養護学校でも配管などを考慮して、最適な場所にGHP、供給機器を設置した



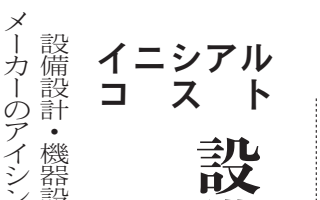
特別教室は面積が広いので2台の室内機を設置

今回の公募は昨年9月19日に実施要領をホームページに公開し10月23日に現地見学会、10月31日が参加申込書提出期限というタイトなスケジュールで実施された。同協同組合は地域のLPGガス販売店と地域に拠点を持つ卸事業者の18事業者で構成しており、今回反省会では提案競争に敗れた最大の要因として「他者に比べ信頼性が劣っている」とのことであると結論した。

しかし、今回のような大型物件になると、競合する大手事業者と比べ、特に財政面での信頼性において劣ることになる。そこで、今回の応募では経済の活性化を図ることを基本としている。過去のLPGガス協会でも、設備設置料率を思い切つて出してよいという指示があった。今回の成果は会社を挙げて勝ち取ったものだと話す。

随所でJV効果を発揮 大型案件勝ち取れる料率設定

T&Dリースが事業主体として協同組合とJVを組んだことで、行政からの信頼性は格段に高まった。担当した大阪支店の梶山大課長は「過去2回の公募でも、見積書作成するなどの協力をした。今回は共同事業体となったことで審査会にも参加した。過去の審査会ではファイナンスに関する質問が多く出た。聞いたので、想定される質問への回答なども準備していたが、この点に関する質問はほとんどなかった」という。そのうえ「当社が協同組合とJVを組むことで信頼性を高めたとも言えるが、私達の共同企業体は選ばれたという事は、提案した金額が最高点だったのではないかと考えている」と述べ、「社長からは、はたして機器の用意ができるのかという懸念があった。これに對し、同社は数年前にアイシン精機との間で機器代金と工事費、メンテナンス費用をパッケージにしたリースプラン「メンテナンスパック」を導入した。これを締結した関係があり、同社経理で機器を依頼し、現地調査に臨んでもらうことができた。また、同社が間に入り設備設計・設置工事を担当する卸事業者とアイシン精機を結び付け、的確な提案と工事を現実させた」と話す。



製作するなどの協力をした。今回は共同事業体となったことで審査会にも参加した。過去の審査会ではファイナンスに関する質問が多く出た。聞いたので、想定される質問への回答なども準備していたが、この点に関する質問はほとんどなかった」という。そのうえ「当社が協同組合とJVを組むことで信頼性を高めたとも言えるが、私達の共同企業体は選ばれたという事は、提案した金額が最高点だったのではないかと考えている」と述べ、「社長からは、はたして機器の用意ができるのかという懸念があった。これに對し、同社は数年前にアイシン精機との間で機器代金と工事費、メンテナンス費用をパッケージにしたリースプラン「メンテナンスパック」を導入した。これを締結した関係があり、同社経理で機器を依頼し、現地調査に臨んでもらうことができた。また、同社が間に入り設備設計・設置工事を担当する卸事業者とアイシン精機を結び付け、的確な提案と工事を現実させた」と話す。

設備設計・機器設置でメーカーのアイシン精機と連携を取りながら、ハイパワーマルチを採用して電力負荷とランニングコストを抑え、室外機連結型の大丸エナウィンと上原も積極採用し、冷媒配管本数を削減するなどコストを低減した。

上原成商商事液化ガス部は、機器は冷暖房機能を備えたものとなっているが、空調機稼働は特別を除き、6月1日〜9月30日の期間で設定温度を28度Cにした冷房運転だけとなっている。

また、設備の機能は冷房能力2000坪平方メートル以上を指定している。このように冷房運転が主体となるため、機器選定はGHPの近くに容器庫を置くことでガス配管工事費を削減するなどした」と語る。

同様に、勝てる提案を行った大丸エナウィン湖南支店の遊津史寿係長は「当社での業務を抱えながら、短期間の提案書作成を求められ苦労をしたが、懸命に取り組んだことが評価されてうれしく思う。審査会でも担当者満足させる回答ができた」と実感しており、1回目のプロポーザルからこの事業に関わったことで個人としてのスキルも高めることができた」と話す。

各学校への設置工事も完了した現在、小和田理事長は「LPGガス設備を入れてお客さんに喜んでもらうことが大切だ。生徒や教職員、父兄に喜んでもらうことで、指定避難所などへのLPGガス設備導入につながれば良いと考えている」と語る。



栗東高校に設置された室外機。分散設置し、供給設備も室外機に近いところに置いた



室内機は天井吊形5馬力を1基設置